令和４年度第１回厚岸町総合教育会議資料

厚岸翔洋高等学校の現状と取組等について

（厚岸町教育委員会作成）

趣旨説明

現在、教育委員会においては、月一度、定例の教育委員会会議を開催。厚岸町の教育行政について審議している。しかし、厚岸翔洋高等学校は道立高校であることから、なかなか議論の俎上に上がることは少ない。

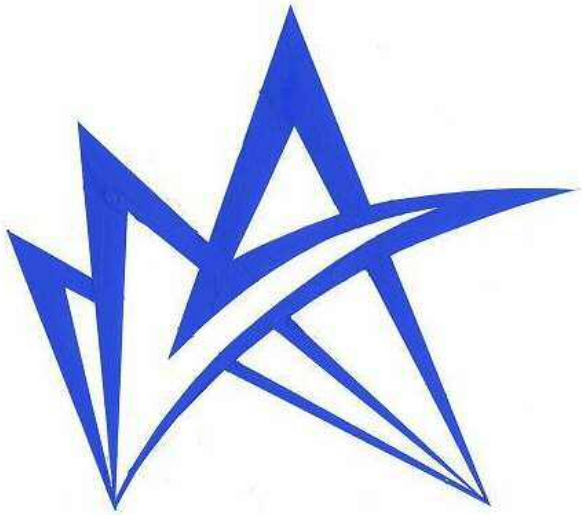
一方で、出願者数の現状を見ると、厳しい状況にあることが推察される。

地域の人材を育て、輩出している、地域の高校の現状について情報共有するとともに、町としての関わり方も含めて、厚岸町総合教育会議において協議するものである。

（１）厚岸翔洋高等学校の現状

　60年の歴史を持つ北海道厚岸潮見高等学校と65年の歴史を持つ北海道厚岸水産高等学校が統合し、普通科と海洋資源科を併設した「北海道厚岸翔洋高等学校」として平成２１年４月１日に開校。

学校のシンボルとなる校章は、厚岸水産高校と厚岸潮見高校の伝統を受け継ぎ、新たな学校として飛躍していく姿を3つの三角形で表すとともに、中央に太平洋の水平線を、未来を見つめる姿として表したもの



■スクール・ミッション

1　個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成

2　郷土を愛するとともに、地域産業の持続的な成長を担う職業人に求められる資質・能力を身に付けた生徒の育成

■令和４年度の全校生徒数　　８９名

（内、新入学者数は、３２名
・普通科　　１６名
・海洋資源科　１６名）

年　度	生　徒　数
令和３年度	１０６名
令和２年度	１３４名
令和元年度	１６３名
平成30年度	１６３名
平成29年度	１５４名

■ 令和５年度厚岸翔洋高等学校入学者選抜　再出願後の出願状況

学科名	募集人員 (A)	推薦枠	推薦入学確約書 提出者数 (G)	道外からの出願	実募集人員 I＝A-G	再出願後の全出願者数 J	道外からの出願	倍率 J/I	昨年度の同期の倍率
普　通	40	12	1		39	10		0.3	0.4
海洋資源	40	20	3	0	37	12	0	0.3	0.4

【普通科】

海洋資源科との併設を利用した特徴あふれる授業の展開！

本校普通科では水産科である海洋資源科との併設を利用し、１学年では学科で分けてクラス編成をせず、海洋資源科と混合し、ミックスホームルームとして、他の高校では経験できない授業を展開しています。
２学年からは進路に合わせた選択授業をはじめ、学力に応じた習熟別授業を行っています。また、企業実習や海外交流事業も行っており、特色ある授業を展開しています。
さらに、将来の目標に合わせた資格取得、各種検定への自主的な取り組みに力を注ぎ、生徒の進路実現を全力でサポートしています。

●カッター

●体験乗船

●すり身揚げカマ作り

１学年次に『水産海洋基礎』という科目を設定しています。この科目では海洋資源科の生徒と一緒にカッター（１２人で漕ぐ大きなボート実習）、大型実習船での１泊２日の体験乗船を行います。また、魚のすり身で揚げカマ作りも行い、食品加工に関する簡単な実習も行っています。

●企業実習

２学年次では企業実習を体験し、心身を通じて意味を学びます。

取得可能な資格・講習

毛筆・硬筆書写検定
日本語検定、語彙・読解力検定
日本漢字能力検定
実用数学技能検定
実用英語能力検定
サービス接遇検定、秘書技能検定
日本情報処理技能検定
日本語ワープロ検定
全商簿記検定、全商情報処理検定
全商珠算電卓実務検定
危険物取扱者　など

★学習内容の特色★

「多様化時代に対応した学習の実現！」として幅広い選択科目を設置しています。

進学系の選択科目

発展国語、数学Ｂ、発展数学、理科基礎研究、英語購読

を選択科目として、４年制大学（文系・看護医療）や看護医療系専門学校への進学が可能な教育課程を編成し、進路希望を実現できるように支援しています。

就職系の選択科目

実用国語、生涯スポーツ、実用英語、簿記、情報処理

を選択科目として、公務員、事務、販売等、幅広い職業選択を可能とするため、商業科目が選択できる教育課程を編成し、進路希望を実現できるように支援しています。

長期乗船実習風景(3 年)

【海洋資源科（生産ｺｰｽ）】

試験範囲は広大な『海』

海を科学し攻略する！

漁業生産を始め、資源管理、食品加工など海洋・水産関連設備等に関する幅広い知識と技術を習得させ、これらに関わる業務に従事する技術者及び経営者として必要な能力と態度を育てることを目標とし、その世界で活躍する人材を育てます。
また、本校の海洋資源科・生産コースは一級小型船舶操縦士の養成施設に認定されています。

磯採集(1 年)

缶詰製造(1 年)

ガス
溶接
(2 年)

漁労実習(2 年)

魚類の分類(2 年)

パラオ寄港地研修(3 年)

取得可能な資格・講習

一級小型船舶操縦士
アーク溶接特別教育
ガス溶接技能講習
玉掛け技能講習
小型移動式ｸﾚｰﾝ運転技能講習
食品衛生責任者養成講習
危険物取扱者、救命講習
その他各種検定　など

インターンシップ(2 年)
潜水実習(2 年)

カキ養殖(2 年)

１学年次からカッターをはじめ、磯採集、缶詰製造など各種実習を行っています。２学年次では潜水実習や漁労実習・カキ養殖などの各種漁業実習を行い、より実践的な技術を身につけます。冬場はガス・アーク溶接実習やロープワーク、編網、３学年次では長期乗船実習に臨み、漁業生産の総合力を身に付けます。

【海洋資源科（調理コース）】

道東唯一の調理師養成校

味を引き出す技を学ぶ！

食品衛生や栄養学、調理等に関わる基礎的な知識と技術を習得させ、船舶調理士や観光、食品関連産業等で活躍する人材を育てます。
また、本校海洋資源科・調理コースは調理師の養成施設に認定されています。定員は３０名です。

衛生学実験（2，3 年）

校外実習（3 年）

調理実習（2，3 年）

取得可能な資格・講習

調理師
春季技術考査（専門調理師筆記試験免除のため）
危険物取扱者、その他各種検定　など

成果発表会（3 年）

新しい寄宿舎　建築中！

今の“若潮寮”は築後50年を経過していることから、現在、新寄宿舎を建築中です。
完成は来年５月、その後、備品等の整備が行われ、新しい寄宿舎への入居は来年度の途中からになる見込みです。

こんな素敵な寄宿舎が、来年に完成します！ →

１年　体験乗船実習

普通科・海洋資源科ともに、釧路近海で１泊２日の実習です

少し緊張気味の　乗船式

私たちの船室です

どんぱく の花火を海から見ました！

いよいよ出港です！

釣り実習　見事、釣れました！

昼食はカツカレー、サラダ、バナナです

生産コース10名は、30日間に及ぶ南太平洋でのマグロ延縄実習のため、生徒や保護者のみなさんからの見送りを受け、4月17日に釧路港を出航しました。

3年 海洋資源科 生産コース 10名
30日間 やり遂げました！
長期乗船実習 終了

南太平洋でマグロ延縄実習を終え5/14(土)に釧路港に帰港しました

３年 海洋資源科　まぐろ解体・調理実習

長期乗船実習で漁獲したまぐろを解体･調理　～まぐろ料理のフルコース 完成！～

生産・調理両コース16名が力を合わせて挑戦！（講師は纏鮨の鳥谷部さん）

ﾒﾆｭｰはお造り、漬け丼、唐揚げ、なめろう、ねぎま汁です

３年 海洋資源科　実習が始まりました！

調理ｺｰｽ　校外実習

調理コース6名は、4月13日から26日までの2週間、実践力の育成を目的に、現場実習に取り組みました。

実習先は、町内の学校給食ｾﾝﾀｰ、道の駅ｺﾝｷﾘｴ、町立病院、纏寿司、釧路市のﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ、ANAｸﾗｳﾝﾌﾟﾗｻﾞﾎﾃﾙです。ご協力ありがとうございました。

磨いてきた調理の腕前を披露！

３年 調理コース 成果発表会　［12月10日(土)開催］

朝から調理を開始！

メニューと担当者

①棒棒鶏［種田さん］
②干焼蝦仁［吉田さん］
③青椒肉絲［河埜さん］
④筑前煮［保里さん］
⑤野菜の天ぷら［保里さん］
⑥ほうれん草の白和え［河埜さん］
⑦ポテトサラダ［藤本さん］
⑧ハンバーグ［鈴木悠真さん］
⑨ｼﾞｬｶﾞｲﾓのﾆｮｯｷ［種田さん］
⑩白飯［鈴木悠真さん］
⑪味噌汁［吉田さん］
⑫フルーツ牛乳寒天［藤本さん］

素敵な料理ができあがりました

家族のみなさんとおいしく楽しく食べました

調理ｺｰｽ仲良し6人組です

高校を知ってもらうための活動

厚岸中１年生が授業を体験！

8月31日(水) 厚岸中１年生が翔洋高校に来校し、高校の授業を体験しました

ロープワーク

ｱﾙﾃﾐｱ(小型の甲殻類)の顕微鏡観察

電子顕微鏡での昆虫の身体の観察

高校の学習について説明を聞きました

PTA・中学生 体験航海 実施！

9月18日(日) 釧路港近海において、本校PTAと釧根地域の中学生を対象に、若竹丸体験航海を実施しました

１日体験入学

10/5(水) 60名以上の方に参加いただきました。

授業見学(ﾋﾞｼﾞﾈｽ基礎)

体験授業(ウニの受精)

海洋資源科の取組

2年 海洋資源科 生産コース 4名
厚岸中1年生との 地引網体験学習

5/17(火)
真龍岸壁付近の干潟で実施。
高校生の指導のもと、中学生が網を引きます。

中学生からは「厚岸の海の豊かさが分かった」「魚の種類が分かった」「魚についての知識が増えた」などの感想が寄せられました。

厚岸小 ５年生と地引網体験

9月15日(木)
本校生産ｺｰｽ２年生が講師役となり厚岸小５年生と地引網体験学習を実施しました

全道水産クラブ研究発表大会 第1位！　全国大会出場！

～ 釧路・根室 高校生ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾝﾍﾟﾃｨｼｮﾝでも 最優秀賞!! ～

本校代表の海洋資源科３年の平井秀太さんと箭内廉三さんの研究が、全道水産ｸﾗﾌﾞ研究発表大会において、出場11チーム中１位を獲得しました。12月15、16日に秋田県男鹿市で開催される全国大会に、北海道代表として、翔洋高校生が３年連続で出場します。

また、２人の発表は、「ﾉｰﾏｯﾌﾟｽ釧路・根室2022 高校生ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾝﾍﾟﾃｨｼｮﾝ」（10校、22ﾁｰﾑ出場）においても最優秀賞の栄冠に輝きました。

ﾃｰﾏ	厚岸の未利用・低利用魚の研究 ～アメマスを例に～
研究の概要	● 厚岸の未利用・低利用魚の中でアメマス（現状、魚粉原料以外の利用なし）を取り上げ、有効活用方法を研究した。 ● アメマスは旨味を補い油で揚げる調理法が適していることを見つけ、３種（ﾀﾏﾈｷﾞ・紅生姜・味噌ﾊﾟﾝ粉）の揚げかまぼこを開発した。 ● 同様に未利用・低利用魚のﾑﾛﾗﾝｷﾞﾝﾎﾞの揚げかまぼこも開発。 ● 開発した揚げかまぼこは、専門家等から高い評価を得た。 ● 今後は揚げかまぼこの一般販売の実現に向けた取組と、他の未利用・低利用魚に対しても有効活用を図る研究を進める。

全国大会出場にむけて若狭町長へ表敬訪問☞

全国生徒研究発表大会　出場！

12月16日(金)秋田県男鹿市において、北海道代表として　３Ｋ　平井秀太さんと箭内廉三さんが「厚岸の未利用・低利用魚の研究～アメマスを例に～」をテーマに発表を行い、奨励賞を受賞しました。

なまはげから激励を受けました

大きなステージで堂々と研究成果を発表しました

中学生に発表しました！

昨年の12/21(水)、全国大会に出場した海洋資源科3年の平井秀太さんと箭内廉三さんが厚岸中と真龍中を訪問し、中学生のみなさんに研究成果である「厚岸の未利用・低利用魚の研究～ｱﾒﾏｽを例に～」を発表しました。

地域の課題の解決に主体的に取り組んだ２人の発表を、中学生のみなさんは真剣に聞いて下さいました。また、発表後には、たくさんの質問をしていただき、ありがとうございました。

テレビに取り上げられた翔洋高校

2022/08/31　　STV水産高校ウイーク(1)

８月２９日、札幌テレビ放送（STV）の「どさんこワイド１７９」という夕方の地域情報番組で、水産高校ウイークと題し、厚岸翔洋高校の取組が紹介されました。

本校の実習で水揚げした「キハダマグロ」を使って料理研究家の星澤幸子先生が作る簡単レシピ「**漬けマグロのベジタブルDON**」が紹介されています。

2022/10/24　　STVどさんこワイド水産高校ウイーク（２）

１０月２１日、札幌テレビ放送（STV）の「どさんこワイド１７９」という夕方の地域情報番組で、水産高校ウイーク第２弾と題し、本校の取組が紹介されました。

本校の養殖実習で育てた「カキ」を使って料理研究家の星澤先生が作るレシピ「**まるごと牡蠣むすび**」が紹介されています。

2022/12/08　　STVどさんこワイド水産高校ウイーク（３）

１２月７日、札幌テレビ放送（STV）の「どさんこワイド１７９」という夕方の地域情報番組で、水産高校ウイーク第３弾と題し、本校の取組が紹介されました。

本校１年生が製造実習で作った「サンマ味付缶詰」を使って料理研究家の星澤先生が考案したレシピ「甘辛サンマのご飯ピザ」が紹介されています。

（２）教育委員会の支援状況

① 通学バス定期券購入助成事業

　少子化や通学区域の拡大に伴い、釧路市内の高等学校へ進学する中学生が増加している状況において、町内に高等学校を存続させることは、将来的にも町の活性化に繋がることから、地元高等学校への通学生を確保するため、通学バス定期券購入を行ない、保護者の教育費負担軽減と入学者の確保並びに通学生との利便性向上に努めています。

② 部活動へのスクールバス送迎支援

　高校側からの要望により、部活動の大会に限り、スクールバスの使用状況を考慮した中で、送迎支援を行なっている。

③ 厚岸翔洋高等学校

ＩＣＴ学習支援事業

厚岸翔洋高等学校に入学する生徒に対し、ＩＣＴ環境の経済的負担を支援するとともに、ＧＩＧＡスクール構想を推進している小中学校のＩＣＴ環境と切れ目ない環境で学習ができるよう、厚岸町として生徒に対してパソコン端末を貸与する。

購入年度	購入パソコン台数	事　業　費	備　　考
令和４年度	４０台	１，８００，０００円	令和５年度入学者に貸与
令和５年度	４０台	２，２６６，０００円	令和６年度入学者に貸与

※ 令和４年度入学者への貸与用パソコンは、令和３年度に道教委が整備した、経済的な事情等によりパソコンの用意が困難な生徒分４４台にて対応。

（３）町長部局の支援状況

・マイスターハイスクール事業の取組

（水産農政課）

管理機関名（北海道教育委員会/厚岸漁業協同組合/厚岸[illegible]）　学校名　北海道厚岸翔洋高等学校

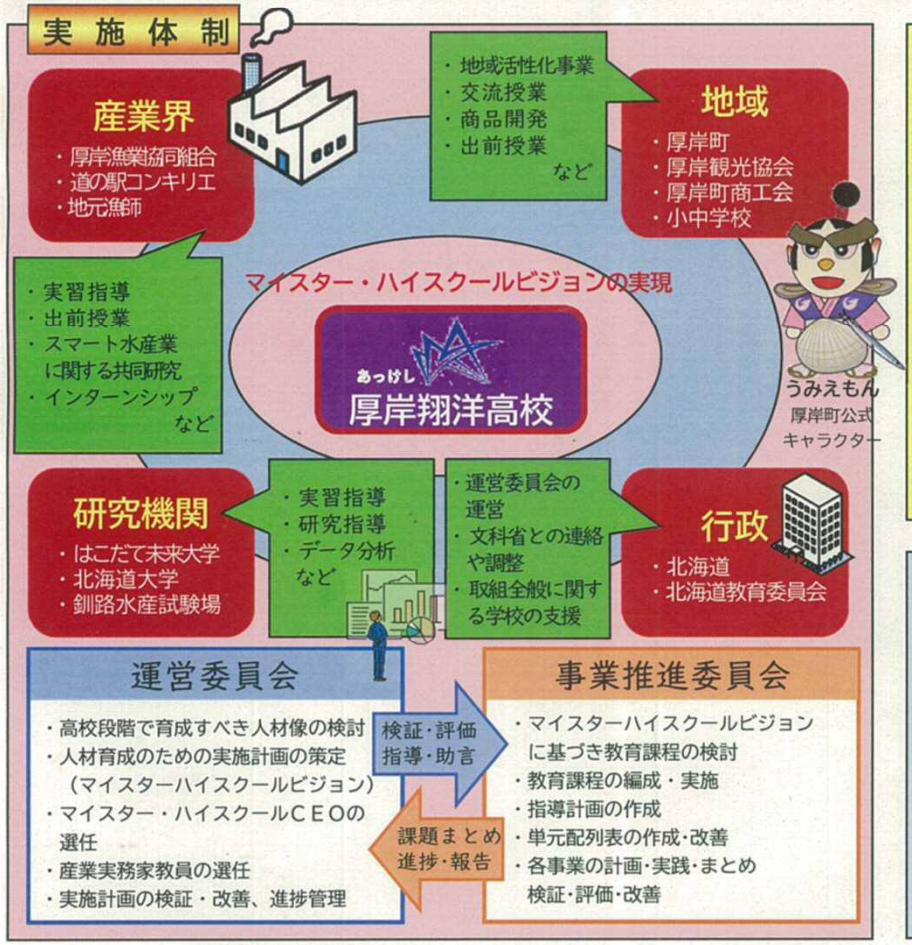
令和４年度 マイスターハイスクール事業

地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成 ～IT導入による持続可能な地域社会の創造～

事業の目的

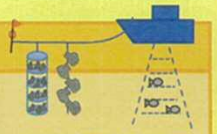
水産分野の産業構造が変化し、仕事の内容の革新が求められる中、カキやアサリ、コンブといった水産業を基幹産業とする厚岸町において、IT技術を活用したスマート水産業の実践を通して、地域の資源管理型漁業の推進に寄与するとともに、デジタル人材の育成をはじめとした地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人を育成する。

実施体制



事業概要

①水産資源の持続化に向けた取組

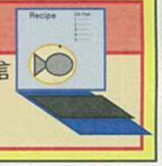


- 沿岸漁業における漁獲データをデジタル化
- 魚群探知機の技術習得と資源管理型漁業の推進
- カキやアサリなどの養殖施設にスマートブイを設置して海洋環境を把握

②漁家経営の持続化に向けた取組

- 沿岸漁業者と各種データを共有して資源管理を推進
- 実習の様子をカメラで撮影して作業効率化と安全体制の構築
- ドローンやAIを用いて赤潮など漁場環境の変化に対応

③地域経済の持続化に向けた取組



- 地元水産物の料理レシピの開発とネット販売による魅力発信
- 未使用資源の有効利用と商品のブランド化
- 食と観光をミックスした観光パッケージツアーの開発

期待できる成果

★ 未来に翔く人材の育成
・スマート水産業を牽引したり、地域資源の商品化・ブランド化を推進したりするなど、漁業・食・観光の分野で地域創生の担い手として活躍する人材を輩出

★ 持続可能な開発目標（SDGs）の実現
・目標の「14海の豊かさを守ろう」をはじめ、食料問題や産業振興などに関わる目標の実現に資する取組を推進

★ 脱炭素（カーボンニュートラル）への貢献
・ITを活用した効率的な漁業によって、船舶などの排出するCO_2が削減

★ 水産・海洋高校のモデル校として研究成果を全国に普及
・スマート水産業に取り組む高校が増え、各地域の水産業の振興に寄与

別紙様式3

【 課　題 】

1　中学生の高校進学時の志望校の１つに翔洋高校を位置づけるにはどうしたらいいか。

⇒教育委員会の役割

2　地域の人材を育て、地域人として根ざしてもらうにはどうしたらいいか。

⇒町・地域の役割

3　町外からの入学者を増やすにはどうしたらいいか。

⇒高校の役割